



平成24年9月20日

光合成研究拠点を目指す

岡山大学国際シンポジウムを開催

<概要>

岡山大学は、10月22、23日に国際シンポジウム「光合成システムの構造とダイナミクス」を開催します。

岡山大学では開学以来今日まで60年以上にわたり光合成研究が活発に行われ、昨年サイエンス誌の「2011年の科学十大成果(Breakthrough of the Year 2011)」に選ばれるなど、多くの重要な研究成果を挙げてきました。シンポジウムに世界の第一線で活躍する研究者を海外および国内から招聘し、研究者間の連携を深め、光合成研究の一層の推進を図ります。

<本文>

岡山大学は、10月22、23日に国際シンポジウム『光合成システムの構造とダイナミクス』を本学創立五十周年記念館で開催します。また、シンポジウム開催を記念して10月21日には、『太陽光エネルギーと光合成』と題し、公開講演会も同会場で開催します。

シンポジウムでは、国内外において第一線で活躍する研究者が最先端の学術講演を行い、これと並行して、この分野の特に若手研究者が発表できる場としてポスターセッションも行います。また、公開講演会では、光合成研究の世界的なリーダーの一人であるイスラエルのナザン・ネルソン教授、サイエンス誌の「2011年の科学十大成果(Breakthrough of the Year 2011)」に選ばれた本学の沈建仁教授の2人が講師となり、広く高校生や市民を対象に、光合成研究の一端をわかりやすく講演させていただきます（詳細は、別添資料を参照してください）。

岡山大学でこのような国際シンポジウムを開催するのは初めてです。光合成分野の研究拠点として、国内外の研究者や多くの市民の参加をお待ちしています。

<お問い合わせ先>

岡山大学

(所属) 自然科学研究科・理学部生物学科

(氏名) 教授 沈^{しん} 建仁^{けんじん}

(電話番号) 086-251-8502

(FAX番号) 同上

(メール) shen@cc.okayama-u.ac.jp